



2011 July No.4

BOAT RACE

Monthly Report

■ モーターボート競走法制定60周年特集



BOAT RACE

Monthly Report

2011 July No.4

Contents

1 モーターボート競走法制定60周年特集

挨拶
最近10年間の動向
60年のあゆみ
ボートレース施設マップ
ボートレース形態別売上推移
公営競技売上推移

14 第38回笹川賞

16 平成24年度SG競走、全国発売GI競走、モーターボート大賞競走の開催地決定
GII競走開催要綱の一部改正について

18 平成23年度第1回地区別推進会議 開催結果

20 ミニボートピア福島オープン

21 平成23年度モーターボート競走連絡協議会 現地調査実施要綱が決定

21 平成23年度モーターボート整備士資格試験受験者講習会

22 全ての場外発売場が営業を再開

22 スマートフォン「BOAT RACE web投票」サービスを開始

23 全国24ボートレース場のマスコットロボットが大集合!

23 公営競技初!カラーマークカードを試験導入

24 BOAT RACE 振興会会長賞競走テレボートカップを再開!

27 Publicity News

BSフジ「BOAT RACE ライブ ～勝利へのターン～」～年内放送予定を発表～
BOAT RACE オフィシャル webサイトがリニューアル・オープン
iPhone用アプリ「ARていちゃん」の無料ダウンロードサービスを開始

30 インフォメーション

東海地区新人レーサーボランティア活動&新人レーサー・スター候補選手
チャリティトークショー(競走会東海支局・ボートピア名古屋)
「第1回こうのす花まつり」にてボートレースをPR(BOAT RACE戸田)
宮城県名取市に義援金を寄付(ボートピア川崎)
「第35回ひろしまフラワーフェスティバル」にてボートレースをPR(BOAT RACE宮島)

33 JLC REPORT

34 テレボート通信

35 競走の記録

36 5月の売上・利用者状況

38 Fネット便覧

39 諸統計

View Finder

40 日本財団笹川会長の動向

モーターボート競走法制定60周年特集



挨拶
国土交通大臣
大島 章宏

「モーターボート競走法制定60周年」にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昭和26年6月18日、モーターボート競走法が制定され、ちょうど60年という歳月が経過いたしました。翌年4月に長崎県大村ボートレース場で初めてのレースが開催され、以来、モーターボート競走は、海事関係事業を始めとする様々な公益事業の振興及び地方財政の改善に多大な貢献を果たして参りました。

この間、公営競技全体についてその存続が議論されたこともあり、その道のりは決して平坦なものではございませんでしたが、施行者、競走会、選手等競走関係者の皆様が一致団結して、目まぐるしく変化する社会情勢に対応されるとともに、多様化するファンのニーズに柔軟かつ的確に対処してこられた結果、今日においてモーターボート競走が多くの国民に親しまれる健全な大衆レジャーとして著しい発展を遂げ、広く社会に定着するに至っておりますことは誠に喜びに堪えません。

さて、モーターボート競走の売上は、バブル期の平成3年の約2兆2,000億円をピークに、平成22年度は約8,500億円となっており、我が国経済の停滞やレジャーの多様化等により長期間にわたる減少傾向に歯止めがかからず、非常に厳しい状況が続いております。

このような中で平成19年4月にはモーターボート競走法の大改正もあり、業界では平成20年4月から新たな制度・枠組みのもとで競走事業の効率的な運営や効果的な実施体制を整備するとともに、売上向上を目指し各種施策が進められてきたところでありますが、関係者の懸命なご努力にもかかわらず、期待された結果が出ていない状況が続いております。

このような厳しい状況を乗り切るためには、競走関係者の皆様が、競走法制定60年という今般の節目にあたり、諸先輩方が築き上げたモーターボート競走を初心に返って今一度見つめ直し、競走事業の活性化等のための諸施策に全力で取り組んでいくことが重要と考えております。

国土交通省といたしましても、今後とも最大限の努力を皆様とともに続けて行きたいと思っております。

最後に、皆様のご健勝とモーターボート競走の発展を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

最近 10 年間の動向

平成 13 年 (2001 年)

総括

21 世紀の幕開けとなった 2001 年は、業種を超えた企業間の合併や大幅な人員削減等の構造改革が始まり、日経平均株価は 1 万円を割る等、経済の長期低迷を反映した話題が多かった。9 月 11 日にはアメリカ・NY で旅客機によるテロが発生し、世界中に緊張が走り、大きな不安を抱えた新世紀の幕開けであった。

スポーツ界では、イチロー選手が米リーグへ挑戦し、新人王と年間 MVP を獲得する活躍を見せ、日本人に大きな夢と希望を与えた。

ボートレース業界では、モーターボート競走法制定 50 周年という、大きな区切りの年であった。3 連単等の新投票法の全国展開、やまと学校の竣工、投票手段の IT 化等、21 世紀の幕開けにふさわしい、新たな施策を盛り込んだ年となった。



3 連単発売イベント

トピックス

- ・3連単の全国展開
電投・場間場外も広域発売対応
- ・やまと学校竣工
21世紀の選手、審判員・検査員は大和町から
- ・IT投票の拡大(インターネット投票・iモード投票開始)
7月よりネット投票、12月よりiモード投票が開始
- ・モーターボート競走法施行規則の一部改正
競走開催回数の上限引き上げ、弾力的に開催規模を設定可能
- ・モーターボート競走法制定50周年
各施設にてファンサービス・イベントを実施
- ・ナイターレース場間場外発売の拡大
新たに3場、8BPが加わり、年間168日実施
- ・SG競走を大いに盛り上げる
寺田千恵選手が女子選手初SG優出、市川哲也選手がSG完全優勝
- ・新世紀に入り、場内施設もリニューアル
戸田 ダブルビジョン、芦屋 多目的ホール

平成 14 年 (2002 年)

総括

2002 年は、景気の低迷に伴い、日経平均株価の 9,000 円割れ、企業間の合併、大幅な人員削減等、依然として日本経済の長期低迷に関する話題が多かった。

スポーツ界においては、日韓共催 W 杯が開催され、日本・韓国共に初の決勝トーナメントに進出、日本中がサッカーで沸き、戦後初の日韓共同のイベント開催ということもあり大いに盛り上がった。

ボートレース業界では、SG 競走初のナイターレースの開催、スタート展示の全国展開、ジャパンネット銀行との提携により新しいインターネット投票サービスの提供等、公営競技界で高い注目を集める話題を提供した。



SG 初ナイター MB 記念 (蒲郡)

トピックス

- ・SG競走初ナイター
第48回MB記念(蒲郡)開催
20レース場、BPIにて場間場外174日実施
- ・スタート展示全国展開
8月より全場にて実施
- ・相互払戻サービスの開始
住之江、尼崎、神戸新開地、姫路にて開始
- ・児島 外向発売所「ポートウイंक」を有効活用
発売・払戻事務を競走会へ委託
効率的な場間場外発売の実施
- ・レース場 施設リニューアル
(琵琶湖、津、BIG FUN平和島)
平和島の複合商業施設等がリニューアル
- ・情報提供の充実
(FOMA動画配信サービスの開始)
携帯一台で投票からレース観戦まで可能に

平成 15 年 (2003 年)

総括

長引く不景気もようやく底を見せ、日経平均株価も一時 8,000 円割れとなったが、1 万円前後まで回復し、明るい兆しが見え始めた。

スポーツ界においては 18 年ぶりにセ・リーグを制した星野仙一監督率いる阪神タイガースの快進撃が、日本中を熱狂の渦に巻き込んだ。

ボートレース業界では、売上が前年度比 10% 減と厳しい状況が続くが、お客さまに大変好評であるナイターレースの更なる充実、即日会員登録が可能な JNB との提携、携帯電話投票の拡大、小規模・前売専用場外発売場の設置を可能とするボートレース場及び場外発売場の設備基準の改正等、今後の飛躍の年とすべく様々な施策が行なわれた。



芦屋新スタンドオープンの様子

トピックス

- ・ナイターレースの充実
SG競走の実施、場間場外発売日数の拡大、クリスマス&ファイナルナイター(蒲郡)実施
- ・インターネット専門銀行
「ジャパンネット銀行」との提携
随時入会登録、即日投票、口座への即時入出金が可能に
- ・競走会へ舟券の作成事務委託
施行規則の一部改正により一定条件の元、競走会に委託可能に
- ・福岡、芦屋 新スタンドオープン
福岡はイベントホール、芦屋はエントランス「プラザ」が誕生
- ・「競艇事業推進協議会」を設置
「ファン拡大推進委員会」を解消、重点施策を検討
- ・関東地区相互払戻サービス開始
近畿地区に続き、お客さまの利便性の向上へ
- ・JLC6チャンネル、24時間放送開始
スカイパーフェクトTV385chでの放送開始
2元中継中心に
- ・「競艇経営改善研究会」を開催
「非常事態宣言」が出され、売上向上施策、経営の合理化を検討

平成 16 年 (2004 年)

総括

観測史上最多の台風の上陸により、大雨や暴風が西日本を中心として各地で猛威を振るい、また 10 月には新潟県中越地震の発生により避難生活を余儀なくされた方が一時は 10 万人を超える等、自然災害による被害が続出した。

スポーツ界ではアテネ五輪にて柔道を始めとする選手団の活躍により史上最多のメダルを獲得し、日本中が大いに沸いた。プロ野球界は球団の合併、売却、そして新規参入と球界再編問題に揺れ、国民的スポーツにも経営の厳しさが窺えた。

ボートレース業界では、若松が西日本初のナイターレースを開始し、唐津、大村では前売専用場外発売場が設置される等、お客さまの利便性の向上を図る施策が行なわれた。



初の前売専用場外、ミニット

トピックス

- ・西日本初、若松にてナイターレース開催
5月1日より開始、SG競走実施
- ・業界初の前売専用場外発売場がオープン
前売場外ミニット及びおおむらがオープン
- ・桐生、大郷 新しい運営体制でスタート
競走会が事務受託 経営の合理化へ
- ・漫画「モンキーターン」がアニメで放送
1月よりテレビ東京系列6局等にて放映
- ・今村豊選手、植木通彦選手が通算獲得賞金20億円突破
ボートレース業界初の大会突破の快挙
- ・台風18号により西日本を中心に被害
施設の損壊、開催の中止・順延
- ・スタート展示がルール改正
スロー・ダッシュの区分けを廃止
- ・SG・全国GI、電投朝7時から発売開始
第19回賞金王決定戦より発売開始

最近 10 年間の動向

平成 17 年 (2005 年)

総括

2005 年は、3 月 25 日から 6 ヶ月間、愛知県の長久手と瀬戸の 2 つを会場とした国際博覧会「愛・地球博」が実施され、2 月の中部国際空港の開港とあいまって世界各国、全国各地から 2,200 万名余りが訪れた。

政界では衆議院の解散、郵政民営化法案の可決と、日本が向かうひとつの方向性が明らかにされた。スポーツ界では、31 年ぶりに日本一となった千葉ロッテマリーンズの快進撃が話題となった。

ボートレース業界では、業界努力目標である「お客さま第一」宣言に基づき、お客さまありがとうキャンペーンを展開している。このほか、施設を充実させ、開放することで地域に密着したレース場・ボートピアを目指した施策も行なわれた。



リアルタイムきょうていナビ

トピックス

- ・お客さまありがとうキャンペーンを展開
「お客さま第一宣言」に基づきキャンペーンを実施
ペアボート試乗会、競艇ものしり講座など
- ・ナイターレース実施要領の改正
実施期間及び開催日数の制限撤廃
- ・レース場リニューアル
桐生、芦屋で新スタンド完成 福岡に芝生広場完成
- ・インターネット専門銀行を拡大
イーバンク銀行と提携、即時入会・即時投票が可能に
- ・やまと学校 2 号館が完成
宿泊棟、講堂棟完成 関係者の施設利用が可能に
- ・前売専用場外・小規模場外発売場の設置支援策
上限 1 億円、3 年間無償貸与の整備支援策実施へ
- ・情報の IT 化
オフィシャル web にて初心者用コンテンツを配信、
アプリ「リアルタイムきょうていナビ」開始

平成 18 年 (2006 年)

総括

2006 年は、スポーツに沸いた 1 年であった。3 月に初めて開催された WBC で日本が初代王者に、6 月にはドイツで W 杯が開催された。国内では「ハンカチ王子」こと斎藤佑樹選手率いる早稲田実業高校が甲子園優勝、プロ野球では北海道日本ハムファイターズが 44 年振りの優勝と、世間にも注目される試合が繰り広げられた。

政界では、約 5 年半に涉った小泉純一郎内閣の任期満了に伴い退陣、第 90 代総理大臣に安倍晋三氏が就任し、日本が向かう今後の方向性が注目された。

ボートレース業界では、「お客さまづくりの体系化」の展開、また施設の充実、一般への開放を行なうことで地域に密着したレース場・ボートピアを目指した施策が行なわれた。



住之江ナイター

トピックス

- ・業界再編に向けた検討を開始
「モーターボート競走事業活性化検討委員会」設置
- ・住之江にて初の都市型ナイターレース開催
7 月より「シティナイター」開催 4 場目に
- ・多様性に富んだ場外発売場が次々にオープン
初の MBP 長崎五島、小倉競輪場内に MBP 北九州 MD、支援制度を利用したオラレ呼子等がオープン
- ・「お客さまづくりの体系化」を展開
来場策、理解促進、サービスの充実、再来場策を展開
- ・施設づくりに工夫
蒲郡 昭和アーケード、福岡 グランドオープン、大村 フードコート
- ・民間企業との提携によるサービスの拡大
携帯電話用ゲーム「競艇キング 3D!!!」、
「イーバンク競艇キャッシュカード」のサービス

平成 19 年 (2007 年)

総括

2007 年は、食品偽装問題や賞味期限改ざん問題が次々と明らかになり、食の問題が取沙汰されたほか、原油価格が高騰しガソリンの国内価格が過去最高値を記録したことにより物価の上昇が懸念される等、混沌とした一年であった。

政界では、安倍晋三首相の突然の辞任に代わって、福田康夫氏が就任し、年金問題、テロ対策等の難問解決に迫られた。

スポーツ界では、石川遼選手がアマチュアながらプロゴルフトーナメントを史上最年少で制し、一躍注目を浴びる存在となった。

ボートレース業界では、45 年ぶりにモーターボート競走法の大改正をはじめに、場間場外システムの集約化システムの稼働、スター選手育成の検討等が行なわれた。



ボートピア梅田

トピックス

- ・モーターボート競走法の大改正
昭和 37 年以来の 45 年ぶりの大改正
公正かつ円滑な実施、振興を目的とする
- ・財団法人日本モーターボート競走会の設立
11 月に設立許可が下る
- ・「お客さまづくりの体系化」を引き続き展開
既存のお客さま活性化策、新規のお客さま獲得策
- ・集約化システムの稼働
11 月の平和島を皮切りに以降各場にて推進
- ・「スター選手育成検討委員会」の設置
スター選手育成のあり方、環境整備、広報宣伝などの検討
- ・選手養成第 100 期・記念祝賀会
やまと学校にて祝賀会を実施
- ・オフィシャル web のリニューアル
見易さ、利便性の向上へ
- ・場外発売場が続々とオープン
梅田、横浜など都市型 BP 他、全 5 場オープン

平成 20 年 (2008 年)

総括

2008 年は、原油価格の高騰により、国内では物価の上昇が日常生活に影響を及ぼし、夏以降には米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安から各国で経済的打撃を受けた。

米国ではバラク・オバマ氏が大統領に就任し初のアフリカ系大統領が誕生、国内では福田康夫首相の辞任により、麻生太郎氏が就任し、景気回復問題の解決に迫られた。

スポーツ界では、北京五輪にて、ソフトボール代表が日本球技として 32 年ぶりに金メダルを獲得する等、日本中が注目した。

ボートレース業界では、各競走会と連合会が一元化し、日本モーターボート競走会が設立、現 BOAT RACE 振興会が振興に関する業務を集約し、情報システムや場外発売等を担い、組織の再編成が行なわれ、新たな一歩を踏み出した。



支援制度を利用した三国の外向発売所

トピックス

- ・財団法人日本モーターボート競走会の設立
全国 18 競走会と連合会の一元化へ
- ・売上 1 兆円台を回復
19 年度 4 年ぶりに 1 兆円台
対前年度比が 12 年ぶりにプラスへ
- ・選手養成募集要項の改正
特別試験枠を導入、年齢を 30 歳未満に引き上げ
- ・場内施設のリニューアル
江戸川 護岸工事 アートミュージアムが話題に、浜名湖 南スタンドリニューアルオープン
- ・やまと学校で現地訓練を再開
約 6 年ぶりに再開 以降も継続実施へ
- ・待機行動一部改正
待機行動の活性化を図るため
「著しく異なる進入航走」の規制を廃止
- ・多様性に富んだ場外発売場等が続々とオープン
競輪の場外発売場とのコラボ施設 MBP 双葉、支援制度利用のオラレ、外向発売所等がオープン

最近 10 年間の動向

平成 21 年 (2009 年)

総括

2009 年は、世界同時不況の影響による景気後退が更に進行、秋頃には景気後退に伴い物価が下落、政府からは 3 年 5 ヶ月ぶりにデフレに陥ったことが発表され、雇用削減、消費低迷と依然として厳しい経済状況が続いた。

政界では、衆議院総選挙で民主党が 300 議席以上を獲得、54 年ぶりの政権交代を果たし、鳩山由紀夫氏が内閣総理大臣に就任した。

スポーツ界では、WBC にて日本代表が 2 連覇を達成、ゴルフではプロ 2 年目の石川遼選手が史上最年少の 18 歳で賞金王に輝いた。

ボートレース業界では、若手選手の強化・育成に向けた取り組みが行なわれたほか、待機行動のルール変更によるレースの魅力向上、施設の充実等、各種施策を実施して業界の活性化が図られた。



まるがめブルーナイター

トピックス

- ・日本モーターボート競走会 蔭山幸夫会長退任
新会長に皆川浩二氏が就任
- ・「ボートレース活性化委員会」発足
中央団体にて構成、事業の更なる活性化を目指す
- ・「スター選手育成制度」を設置
若手選手の強化、育成を目的に候補選手 89 名選出
- ・まるがめブルーナイター開幕
全国で 5 場目、中四国地区初、売上好調発進
- ・江戸川が本場レースを再開
場内システム更新、護岸工事を終えレース再開
- ・待機行動のルール変更
待機行動実施細則を一部改正 わかりやすい競走に
- ・場外発売場、外向発売所が続々とオープン
MBP3 場、オラレ 2 場、外向発売所 4 場オープン

平成 22 年 (2010 年)

総括

2010 年はアメリカ経済の減速懸念から円高が進み、日本政府は円高是正のため為替介入等の政策を行なったが、依然として景気は停滞したままとなった。政界では、鳩山由紀夫首相が政治資金問題や普天間米軍基地移設の混乱で辞任し、菅直人氏が就任、事業仕分けや子ども手当などの新規施策を行なった。

スポーツ界では、南アフリカで行なわれた W 杯にて、日本が自国開催以外での初勝利、そして決勝トーナメントに駒を進める躍進に、日本中が注目した。

ボートレース業界では、今までの「KYOTEI」(競艇)から親しみやすさの訴求と国際化を視野に入れた「BOAT RACE」(ボートレース)への呼称変更、「2 連勝ナイトフェスタ」の開催等を展開した。



「BOAT RACE」広告

トピックス

- ・「KYOTEI」から「BOAT RACE」へ呼称変更
競艇振興センター、「BOAT RACE 振興会」を通称名として使用開始
- ・「2 連勝ナイトフェスタ」実施
ナイター場にて 2 連勝式限定競走を実施
- ・ボートレース芦屋 モーニングレース開始
電話投票発売開始時刻は 10 時から 9 時に
- ・新ファンファーレ完成
19 年ぶりに一新、新たな演出一助に
- ・スター候補選手育成・強化の取り組み
適用期間変更、2010 年スター候補選手 92 名選出
- ・選手宿舎の新築、増改築の取り組み
若松新宿舎完成、多摩川増改築完了
- ・場外発売場、外向発売所が続々とオープン
BP1 場、MBP3 場、外向発売所 3 場オープン

60 年のあゆみ

西暦	年号	主な出来事	競技関係	その他
1951	昭和 26	モーターボート競走法制定公布、即日施行 琵琶湖選手審判員養成所で選手養成訓練を開始 大村選手養成所で選手養成を開始 社団法人全国モーターボート競走会連合会設立		
1952	27	モーターボート競技規則制定 第 1 回選手資格検定試験を実施 大村で初開催 全国モーターボート競走施行者協議会設立	スタート事故防止のため予備ラインを設ける	連合会会報第 1 号発行
1953	28	第 1 回全日本選手権競走開催(若松)	尼崎、児島、丸亀、芦屋で 1 日 13 レース実施	
1954	29	選手級別決定基準制定	芦屋で初のオール女子競走開催 競技規則一部改正(出遅制限制定、ゴール制限 3 分)	
1955	30	第 1 回全国地区対抗競走開催(児島)※73 年 19 回で廃止 第 1 回モーターボート記念競走開催(大村)		
1956	31	琵琶湖選手審判員養成所が閉所	選手管理規程制定	
1957	32	連合会が第 1 期選手養成訓練を多摩川で開始(2 ヶ月) 全国競艇施設所有者協議会設立 モーターボート競走法の改正(19 条交付金制定)	競技規則一部改正(スタートゾーン 3 秒、ゴール制限 1 分)	
1958	33	レース直前のスタート練習が始まる	水上施設統一基準制定 ボートの使用を 1 年と定める	
1959	34		連合会が第 1 期審判員養成訓練を多摩川で開始(3 ヶ月) 競技規則一部改正(スタートゾーン 1.5 秒)	
1960	35	選手養成訓練期間が 2 ヶ月から 3 ヶ月に延長 社団法人日本モーターボート選手会設立	福岡で 20 秒針大時計の使用を開始 連合会が第 1 期検査員養成訓練を桐生で開始(3 ヶ月)	
1961	36	フライング返還実施	競技規則改正(規則を規程に、フライングを失格から出走資格の喪失へ)	
1962	37	モーターボート競走法の改正(時限法から恒久法へ、単勝式勝舟投票法と複勝式勝舟投票法等が定められる) 財団法人日本船舶振興会(日本財団)設立 ※ 現:公益財団法人日本財団 戸田漕艇場が東京五輪のボートコースとなり、開催を中止(65 年 10 月再開)	救助艇並びに救助艇要員の基準を制定	
1963	38	ギャンブルホリデー実施(水曜日を非開催日とする)		
1964	39		スタート実技試験を津で開始	第 1 回永年功労者表彰式典を実施
1965	40	選手養成訓練期間が 3 ヶ月から 5 ヶ月に延長		
1966	41	第 1 回鳳凰賞競走開催(平和島) 本栖厚生施設水上スポーツセンター(本栖研修所)開所		戸田で第 12 回全国地区対抗競走優勝戦が業界初のテレビ放映
1967	42	第 14 回全日本選手権競走優勝戦で 5 艇フライングのため優勝者なし	競技規程一部改正(スタートゾーン 1 秒) あっせん辞退制度開始(F1 本 30 日、2 本 90 日、3 本削除通告か除名) モーターの使用を 1 年と定める	
1968	43	本栖研修所にて 5 ヶ月の選手養成訓練開始 万国博覧会協賛競走実施のため特例公布(21 億円余りを提出)		

60 年のあゆみ

西暦	年号	主な出来事	競技関係	その他
1969	44		競技規程一部改正(スタート時の進入方法、展示航走の欠場)	
1970	45	選手養成期間が5ヶ月から1年に延長 公営企業金融公庫(現「地方公共団体金融機構」)納付金制度の発足	運営を全国統一化する	
1971	46	競走法制定 20 周年記念式典を実施	審判員養成訓練・検査員養成訓練を5ヶ月に延長 あっせん辞退制度改正(F3本を180日)	
1972	47	住之江で投票業務完全自動化 全協第2回臨時総会で自治医科大学に対し、同大学の奨学基金として「毎年3億円、10年間拠出」を可決		
1973	48	沖縄海洋博覧会とB&G財団の事業のため、特別協賛競走開催。施行規則一部改正の省令公布	審判員養成訓練・検査員養成訓練を1年に延長	初の修了記念競走を実施
1974	49	オイルショックに伴い全場で1日10レース制を実施 第1回笹川賞競走開催(住之江)	競技規程一部改正(待機行動2分、ゴール制限30秒)	年次売上が初めて1兆円を突破
1975	50	第1回モーターボート競走関係最高責任者会議の開催	自動発艇装置を導入	笹川記念会館開館
1976	51			年次売上で公営競技首位に
1977	52	第1回優秀選手表彰式典を開催		
1978	53		津、宮島を皮切りに12秒針大時計の使用開始	北原友次選手が史上初の4大競走全制覇を達成
1979	54			鈴木弓子選手(旧姓:田中)が9年ぶりの女子養成員として入所
1980	55		あっせん辞退制度改正(F、L共に1本につき40日)	
1981	56	競走法制定 30 周年記念式典を実施	競技規程改正(待機行動における航法を規制・判定基準を設ける)	
1982	57	鳳凰賞競走にて業界初の外向前売発売実施(下関) 第1回ファン拡大推進委員会を開催 モーターボート競走法施行規則の改正(4大競走の準優勝戦・優勝戦に限り場外で特別発売が可能となる)	レース VTR を公表	
1983	58	ボートレースのシンボルマーク誕生 公営競技初の薄暮レース実施(下関)	住之江でオール女子競走23年ぶりに復活	修了記念競走で石原加絵訓練生が初の女子チャンピオン
1984	59	1日12レース制復活(下関) モーターボート大賞競走新設 ※85年4月より	公営競技初のナイターレースの実験を浜名湖で実施 あっせん辞退制度改正(40日→30日に短縮) 芦屋で全日本オールランナ選手権を開催	
1985	60	平和島で進入固定レースをスタート 平和島で業界初の電話投票を実施	スタート30秒以前のエンスト回り直しルール廃止(70年から実施)	
1986	61	場外発売場に通信衛星で映像サービス(平和島・鳳凰賞) 業界初となる場外発売場「ボートピアまるがめ」開設 共同通信情報提供システム稼働 第1回新鋭王座決定戦競走開催(平和島) 第1回賞金王決定戦競走開催(住之江)	尼崎を皮切りに展示タイムを公表 選手主体の自主整備方式テスト(平和島)	初の1億円レーサー誕生
1987	62	第1回女子王座決定戦競走開催(浜名湖)		
1988	63	グレード制(SG/G I /G II /G III /一般の5段階)導入 福岡で前日発売実施	選手持ちプロペラ制度試行実施 スタート練習、展示一括方式の導入開始(江戸川) NEW 1 P レース、桐生で開始 選手の最低体重制度実施(男子50kg、女子45kg)	映画『フライング・飛翔』が全国東映映画館で上映
1989	平成元	昭和天皇崩御、公営競技6日間開催自粛	選手持ちプロペラ制度本実施	倉田栄一選手が史上初の3,000勝達成
1990	2	財団法人モーターボート競走近代化研究センター(現「BOAT RACE 振興会」)設立	あっせん辞退制度改正(F1本30日、2本60日、3本90日) 多摩川で気泡式ライン表示装置採用	年次売上2兆円を突破

西暦	年号	主な出来事	競技関係	その他
1991	3	競走法制定 40 周年記念式典を実施 第1回グランドチャンピオン決定戦競走開催(住之江) スタート練習廃止	年度のスタート事故率過去最少の0.283達成	ファンファーレ使用開始
1992	4	中央情報処理センター完成 株式会社日本レジャーチャンネル設立(12月開局) 江戸川で業界初のマークカード方式投票を開始(特観席内のみ)	待機行動要領の全国統一を実施 若松が連続スタート無事故50日間達成	女性だけのファンクラブ「クラブ・スプラッシュ」結成 服部幸男選手が史上最年少でSG優勝
1993	5	テレボート関東サービス開始 広島市が宮島で94年10月同市で開催されるアジア競技大会運営資金確保の一環として、2年間月間2日開催 テレボートきんきサービス開始	ランナバウト競走廃止	雑誌「競艇マクル」が三栄書房より創刊
1994	6	平和島に劇場型特別観覧席「東京テレシアター」竣工(会員制女性専用ルーム設置) テレボート九州サービス開始 テレボート東海サービス開始	水上施設統一基準改正(40m空中線1本45mに、80m空中線はアウトコース側と85mに。他目盛変更等) 前検の受付終了時刻を12時に変更(SGを除く)	第1回モーターボート・クイーンコンテストを開催
1995	7	阪神・淡路大震災発生(琵琶湖・住之江・尼崎の3場が開催中止、95年度に51億円、96年度に20億円拠出) テレボートせとサービス開始 モーターボート競走施行規則の改正(連勝単式投票方法が1日9レースに拡大可能となる) 笹川良一連合会名誉会長逝去	尼崎でスタートタイミング感知システム(SKS)を導入 住之江でフライング警報システム(FKS)を導入 平和島にて全レース進入固定競走を実施	
1996	8	第1回オーシャンカップ競走開催(住之江) 全レース進入固定競走を全場で試行実施	ユニフォームのデザイン化を実施	雑誌「BOAT Boy」がJLCより創刊 漫画「競艇少女」がスーパージャンプで連載開始 公営競技初のオフィシャルホームページ開設 漫画「モンキーターン」週刊少年サンデーで連載開始 植木通彦選手が公営競技初の2億円選手に
1997	9	桐生にて業界初のナイターレース開始 賞金王決定戦の優勝賞金が1億円になる	ヘルメットの選手個人持ちを実施	
1998	10	全ボートレース場の全レースの電話投票発売を実施 モーターボート競走近代化研究センターが競艇情報センターに名称変更 競艇広報センター設立 第1回チャレンジカップ競走開催(平和島) モーターボート競走法施行規則の改正(連単・連複同時発売が可能となる)	選手登録票をICカード化	
1999	11	蒲郡にてナイターレース開始	あっせん辞退制度の改正(F1本30日、2本30日、3本60日) 競技規程第23条(事故艇付近の内外回り)を規程化	山川美由紀選手が女子として42年ぶりにGI競走優勝 新宿に「競艇センター」オープン
2000	12	モーターボート競走施行規則改正(公営競技で初の三連勝単式・三連勝複式投票法及び拡大二連勝複式投票法の発売が可能に) 女子王座決定戦競走がGIに格上げ 第1回名人戦競走開催(住之江) 住之江にて日本初の3連勝式投票法を導入	ソフトバウボート導入開始(平和島) 選手、審判員及び検査員養成訓練規程の改正(年齢引き下げ、1年に短縮) 選手級別決定基準の改正(3連対率)	
2001	13	「やまと学校」(福岡県柳川市大和町)を開校 競走法制定 50 周年記念式典を実施 公営競技初のインターネット投票での発売が開始 G II 秩父宮妃記念杯競走開催(琵琶湖) 公営競技初のiモード投票での発売が開始	あっせん辞退制度改正(F1本40日、2本60日、3本90日) 選手級別決定基準の改正(最低出走回数50・40回)	寺田千恵選手が女子として初のSG競走優勝
2002	14	全国モーターボートテレホン事務センター設立 近畿地区相互私戻サービス開始 SG競走初のナイターレースを蒲郡にて開催(第48回モーターボート記念競走)	スタート展示航走の試行実施	FOMAにてレース映像の動画配信サービス開始

60年のあゆみ

西暦	年号	主な出来事	競技関係	その他
2003	15	公営競技初、ネット銀行(JNB)との提携により「即時入会・即時投票」が可能なネット会員募集を開始 関東地区相互払戻サービス開始	女子選手の最低体重 45.0 kgから 47.0 kgに変更 SGの前検査受付終了時刻を12時に変更(ナイター除く) スタート展示航走の本実施	
2004	16	若松にてナイターレース開始 業界初の前売専用場外発売場「ミニット」がオープン SG・全国G Iにて電話投票の早朝発売(7時~)開始	あっせん辞退制度改正(F1本30日、2本60日、3本90日) スタート展示航走の実施方法の見直し(スロー・ダッシュの区分の廃止)	アニメ「モンキーターン」がテレビ東京系列で放映開始 今村豊選手が業界初の通算獲得賞金額20億円突破
2005	17	イーバンク銀行との提携により「即時入会・即時投票」が可能なインターネット会員募集を開始 場外発売場「オラレ」の設置推進開始	SG・G I競走の優勝戦・準優勝戦のスタート事故規制強化 プロペラ翼厚検査の試行実施	年次売上1兆円割れ(73年次以来)
2006	18	国交省海事局長の私的諮問機関「モーターボート競走事業活性化検討委員会」の設置 住之江にてナイターレース開始	プロペラ翼厚検査の本実施	携帯電話ゲーム「競艇キング3D!!」配信サービス開始 「イーバンク競艇キャッシュカード」のサービスを開始
2007	19	モーターボート競走法・モーターボート競走法施行規則の改正(競走事務委託に関する規制緩和、重勝式投票法の追加、競走会と連合会の一元化、交付金の見直し等) 新場間場外システム、平和島より稼働開始 財団法人日本モーターボート競走会設立	G III MB大賞トライアル競走新設	オフィシャルホームページリニューアル
2008	20	江戸川、護岸工事のため休催(他場にてゴールデンレース開催) 都府県モーターボート競走会及び全国モーターボート競走会連合会が解散 財団法人競艇振興センター「競艇振興会」を通称名として使用開始	選手養成員募集要綱の改正(年齢引き上げ、特別試験)	
2009	21	ボートレース活性化委員会発足 丸亀にてナイターレース開始	待機行動のルール一部変更(コースの優先艇判定、蛇行の禁止等)	江口晃生選手が早大大学院に入学 プロペラ第1号発行
2010	22	KYOTEIからBOAT RACEへ呼称変更 財団法人競艇振興センターの通称名「競艇振興会」から「BOAT RACE 振興会」に変更 電話投票の発売開始時間が10時から9時へ繰り上げ 芦屋にて公営競技初のモーニングレース開始 2連勝式限定競走「2連勝ナイトフェスタ」開催	選手級別決定基準の一部改正(A1最低出走回数70→90回以上)	新ファンファーレ使用開始

ボートレース施設マップ

ボートレース場 昭和31年~24場(18都府県)



場外発売場 平成12年末時点15場(13県)



昭和61~平成12年

1	BP	まるがめ	昭和61年8月12日	8	BP	三日月	平成8年8月20日
2	BP	姫路	平成3年1月9日	9	BP	川崎	平成10年3月19日
3	BP	呉徳山	平成4年12月24日	10	BP	高城	平成10年7月30日
4	BP	朝倉	平成5年1月23日	11	BP	玉川	平成10年10月14日
5	BP	勝山	平成6年3月1日	12	BP	大郷	平成11年3月14日
★	BP	釧路	平成6年4月23日	13	BP	神戸新聞地	平成11年4月28日
6	BP	河辺	平成7年4月16日	14	BP	松江	平成12年8月13日
7	BP	土佐	平成8年8月12日	15	BP	なんぶ	平成12年12月19日

10年後



平成23年6月末現在 47場(27府県)

平成13~16年

16	BP	岡部	平成13年12月13日
17	BP	市原	平成14年3月16日
※1	BP	呉宮島	平成16年3月16日
18	前売場外	ミニット	平成16年5月13日
19	BP	岩間	平成16年5月20日
20	前売場外	おおむら	平成16年7月7日
21	BP	金峰	平成16年12月3日

平成18~19年

22	mBP	長崎五島	平成18年4月6日
23	mBP	滝野	平成18年4月12日
24	オラレ	呼子	平成18年8月8日
25	BP	名古屋	平成18年8月22日
26	BP	習志野	平成18年9月27日
27	mBP	北九州メディアドーム	平成18年10月20日
28	BP	梅田	平成19年3月16日
29	mBP	洲本	平成19年4月11日
30	BP	京都やわた	平成19年4月12日
31	mBP	長崎時津	平成19年10月25日
32	BP	横浜	平成19年12月14日

平成20~21年

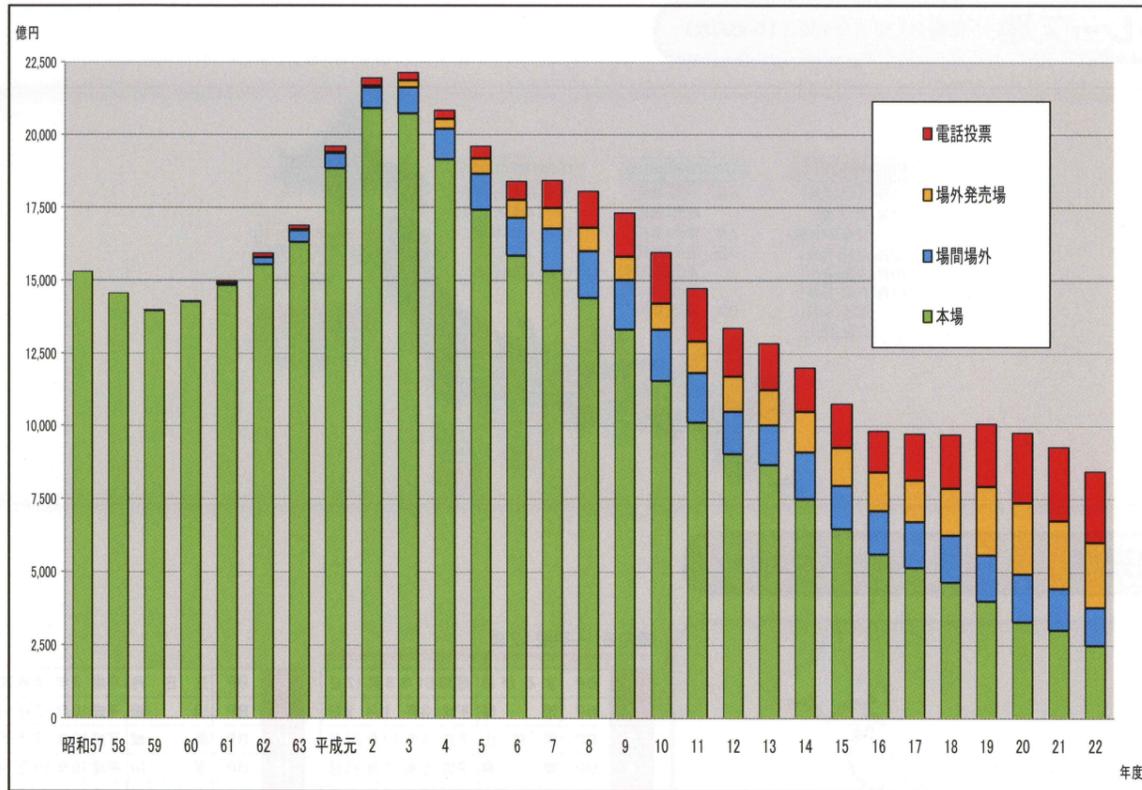
33	mBP	双葉	平成20年3月21日
34	オラレ	徳山	平成20年10月4日
35	オラレ	島原	平成20年10月14日
36	mBP	天文館	平成20年12月3日
37	オラレ	志布志	平成21年4月24日
38	mBP	黒石	平成21年5月2日
39	オラレ	美馬	平成21年10月14日
40	BP	みやぎ	平成21年11月14日
41	mBP	長洲	平成21年12月12日

平成22年~

42	BP	栗橋	平成22年2月25日
43	mBP	長崎波佐見	平成22年8月4日
44	mBP	日向	平成22年12月25日
45	mBP	さつま川内	平成22年12月26日
46	mBP	鳥取	平成23年4月7日
47	mBP	福島	平成23年6月15日

※1 3の呉徳山と同施設
※2 mBPとしてオープン
平成22年9月17日からBP

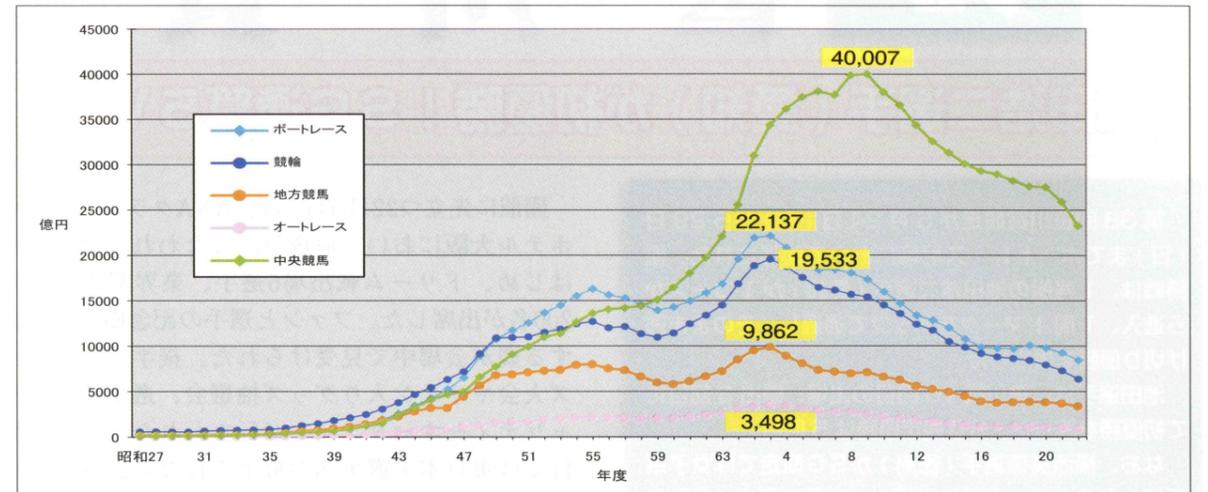
ボートレース形態別売上推移



最高売上 単位:円

年度	本場			場間場外			場外発売場			電話投票			全体	
	売上	前年度比	占有率	売上	前年度比	占有率	売上	前年度比	占有率	売上	前年度比	占有率	売上	前年度比
昭和57	1,529,203,673,800	▲ 3.2	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,529,501,435,000	▲ 3.2
58	1,455,189,422,400	▲ 4.8	100.0%	501,704,900	68.5	0.0%	-	-	-	-	-	-	1,455,691,127,300	▲ 4.8
59	1,395,153,422,700	▲ 4.1	99.9%	882,119,900	75.8	0.1%	-	-	-	-	-	-	1,396,035,542,600	▲ 4.1
60	1,424,623,583,100	2.1	99.7%	2,066,547,400	134.3	0.1%	-	-	-	2,518,532,100	-	0.2%	1,429,208,662,600	2.4
61	1,478,921,696,000	3.8	98.8%	7,189,060,300	247.9	0.5%	700,734,900	-	0.0%	10,161,941,300	303.5	0.7%	1,496,973,432,500	4.7
62	1,552,964,340,900	5.0	97.6%	21,866,260,000	204.2	1.4%	1,835,141,900	161.9	0.1%	14,008,165,300	37.8	0.9%	1,590,673,908,100	6.3
63	1,629,545,425,400	4.9	96.6%	38,345,352,100	75.4	2.3%	2,990,329,000	62.9	0.2%	16,784,795,800	19.8	1.0%	1,687,665,902,300	6.1
平成元	1,883,058,278,400	15.6	96.1%	50,491,230,000	31.7	2.6%	3,503,671,300	17.2	0.2%	21,814,644,200	30.0	1.1%	1,958,867,823,900	16.1
2	2,088,184,242,400	10.9	95.2%	72,014,190,400	42.6	3.3%	6,864,642,300	95.9	0.3%	26,404,916,200	21.0	1.2%	2,193,468,291,300	12.0
3	2,069,865,080,800	▲ 0.9	93.5%	90,054,663,500	25.1	4.1%	23,750,338,700	246.0	1.1%	30,076,207,900	13.9	1.4%	2,213,746,290,900	0.9
4	1,912,935,061,000	▲ 7.6	91.9%	105,837,681,400	17.5	5.1%	34,227,327,500	44.1	1.6%	29,653,073,400	▲ 1.4	1.4%	2,082,653,143,300	▲ 5.9
5	1,740,557,767,400	▲ 9.0	88.9%	122,770,711,000	16.0	6.3%	53,736,540,900	57.0	2.7%	41,457,631,600	39.8	2.1%	1,958,522,650,900	▲ 6.0
6	1,583,803,631,100	▲ 9.0	86.1%	129,246,531,200	5.3	7.0%	60,948,168,700	13.4	3.3%	64,451,086,600	55.5	3.5%	1,838,449,417,600	▲ 6.1
7	1,528,655,022,200	▲ 3.5	82.9%	145,484,570,100	12.6	7.9%	71,289,491,000	17.0	3.9%	97,807,080,500	51.8	5.3%	1,843,236,163,800	0.3
8	1,436,332,993,000	▲ 6.0	79.6%	162,654,566,600	11.8	9.0%	79,067,995,700	10.9	4.4%	125,816,282,200	28.6	7.0%	1,803,871,837,500	▲ 2.1
9	1,328,177,866,500	▲ 7.5	76.7%	171,863,237,300	5.7	9.9%	80,440,668,000	1.7	4.6%	151,153,640,000	20.1	8.7%	1,731,635,411,800	▲ 4.0
10	1,152,227,116,900	▲ 13.2	72.2%	177,767,259,600	3.4	11.1%	89,993,156,700	11.9	5.6%	176,140,648,700	16.5	11.0%	1,596,128,181,900	▲ 7.8
11	1,009,972,585,000	▲ 12.3	68.7%	170,606,377,800	▲ 4.0	11.6%	109,172,533,100	21.3	7.4%	180,864,424,900	2.7	12.3%	1,470,615,920,800	▲ 7.9
12	903,394,609,100	▲ 10.6	67.7%	144,193,030,300	▲ 15.5	10.8%	121,755,102,900	11.5	9.1%	165,442,576,100	▲ 8.5	12.4%	1,334,785,318,400	▲ 9.2
13	863,937,159,100	▲ 4.4	67.4%	138,071,518,400	▲ 4.2	10.8%	119,993,689,400	▲ 1.4	9.4%	159,166,573,800	▲ 3.8	12.4%	1,281,168,940,700	▲ 4.0
14	748,955,475,200	▲ 13.3	62.5%	158,829,395,800	15.0	13.2%	139,411,524,500	16.2	11.6%	151,899,876,600	▲ 4.6	12.7%	1,199,096,272,100	▲ 6.4
15	647,258,116,600	▲ 13.6	60.2%	146,748,090,500	▲ 7.6	13.6%	130,300,147,400	▲ 6.5	12.1%	150,826,500,400	▲ 0.7	14.0%	1,075,132,854,900	▲ 10.3
16	558,647,867,900	▲ 13.7	56.8%	149,886,553,200	2.1	15.2%	131,461,577,700	0.9	13.4%	143,781,107,900	▲ 4.7	14.6%	983,777,106,700	▲ 8.5
17	512,653,589,600	▲ 8.2	52.6%	158,618,966,400	5.8	16.3%	141,531,997,400	7.7	14.5%	161,533,541,200	12.3	16.6%	974,338,094,600	▲ 1.0
18	462,988,042,400	▲ 9.7	47.7%	160,272,567,000	1.0	16.6%	161,016,065,000	13.8	16.6%	186,110,142,800	15.2	19.2%	970,386,817,200	▲ 0.4
19	399,389,320,700	▲ 13.7	39.6%	156,696,131,500	▲ 2.2	15.6%	235,513,714,500	46.3	23.4%	215,914,731,100	16.0	21.4%	1,007,513,897,800	3.8
20	327,811,035,100	▲ 17.9	33.5%	163,995,700,800	4.7	16.8%	243,664,264,300	3.5	24.9%	241,735,082,100	12.0	24.7%	977,206,082,300	▲ 3.0
21	299,559,015,700	▲ 8.6	32.4%	143,410,422,000	▲ 12.6	15.5%	231,976,462,500	▲ 4.8	25.1%	250,799,653,400	3.7	27.1%	925,745,553,600	▲ 5.3
22	248,019,319,600	▲ 17.2	29.4%	128,682,971,400	▲ 10.3	15.3%	224,428,019,400	▲ 3.3	26.6%	242,332,476,600	▲ 3.4	28.7%	843,462,787,000	▲ 8.9

公営競技売上推移



最高売上 単位:日、億円 ※単位未満は四捨五入

年度	ボートレース		競輪		地方競馬		オートレース		中央競馬	
	開催日数	売上	開催日数	売上	開催日数	売上	開催日数	売上	開催日数	売上
昭和27	492	24	4,231	571	2,319	193	154	11	190	86
28	1,974	109	4,345	605	2,438	190	268	17	201	109
29	1,726	138	4,340	588	2,384	180	322	16	208	112
30	3,254	171	4,054	573	2,282	173	340	21	197	111
31	3,503	205	4,089	667	2,225	205	490	38	214	138
32	3,625	226	4,078	736	2,185	233	552	56	207	164
33	3,658	226	4,129	762	2,165	237	506	58	212	190
34	3,555	245	4,033	791	2,063	261	509	65	211	228
35	3,597	295	4,082	835	2,034	318	507	84	215	290
36	3,605	399	3,862	1,011	2,032	436	506	113	215	373
37	3,521	483	3,862	1,263	2,066	644	508	135	232	485
38	3,423	548	3,857	1,482	2,012	713	508	152	241	535
39	3,463	731	3,753	1,817	2,006	917	508	197	257	654
40	3,559	983	3,744	2,125	2,119	1,093	617	248	272	867
41	3,711	1,386	3,721	2,479	2,159	1,382	621	301	281	1,218
42	3,784	1,946	3,659	3,075	2,162	1,793	620	376	290	1,528
43	3,788	2,577	3,651	3,777	2,177	2,212	644	514	286	2,429
44	4,050	3,475	3,654	4,667	2,189	2,792	607	609	285	3,229
45	3,888	4,270	3,644	5,442	2,161	3,172	633	724	286	4,070
46	3,890	5,261	3,663	6,327	1,992	3,168	631	877	286	4,679
47	3,887	6,543	3,632	7,187	2,261	4,400	636	1,092	279	4,946
48	3,829	8,956	3,597	9,168	2,258	5,662	536	1,274	287	6,605
49	3,992	10,787	3,702	10,906	2,239	6,776	567	1,540	272	7,765
50	4,032	11,745	3,687	10,938	2,240	6,857	580	1,651	288	9,084
51	4,044	12,583	3,596	11,016	2,308	7,092	594	1,654	284	9,927
52	4,104	13,696	3,597	11,518	2,330	7,256	646	1,872	288	10,992
53	4,152	14,508	3,593	11,860	2,325	7,343	647	2,009	288	11,365
54	4,152	15,553	3,583	12,449	2,335	7,911	648	2,152	288	12,638
55	4,152	16,310	3,600	12,699	2,309	7,973	648	2,185	288	13,608
56	4,152	15,640	3,637	12,005	2,315	7,510	648	2,136	288	14,041
57	4,192	15,295	3,753	12,142	2,436	7,323	674	2,091	288	14,184
58	4,194	14,557	3,806	11,343	2,449	6,613	701	2,024	288	14,401
59	4,212	13,960	3,840	10,968	2,468	5,957	708	2,028	288	15,089
60	4,212	14,292	3,840	11,431	2,440	5,776	694	2,024	288	16,459
61	4,224	14,970	3,877	12,443	2,425	6,100	756	2,245	288	18,014
62	4,208	15,907	3,894	13,378	2,438	6,647	756	2,388	288	19,731
63	4,194	16,877	3,859	14,511	2,361	7,198	767	2,684	288	22,067
平成元	4,236	19,589	3,911	16,853	2,435	8,491	768	3,021	288	25,545
2	4,248	21,935	3,921	18,847	2,420	9,493	767	3,352	288	30,985
3	4,248	22,137	3,960	19,553	2,417	9,862	755	3,498	288	34,338
4	4,248	20,827	3,950	18,721	2,438	8,882	766	3,394	288	36,139
5	4,260	19,585	3,981	17,544	2,432	8,060	768	3,076	288	37,454
6	4,224	18,384	3,929	16,445	2,386	7,320	790	2,871	288	38,066
7	4,294	18,432	3,945	16,144	2,483	7,141	759	2,701	288	37,666
8	4,272	18,039	3,930	15,672	2,435	6,949	761	2,675	288	39,862
9	4,272	17,316	3,923							